

令和4(2022)年度環境経営レポート

(対象期間: 令和4(2022)年10月1日～令和5(2023)年9月30日)

第41期



東光建設株式会社

作成日: 令和5(2023)年 12月11日

目 次

I. 組織の概要	...	P 1
II. 実施体制	...	P 2
III. 環境経営方針	...	P 3
IV. 環境経営目標	...	P 4
V. 環境経営計画	...	P 5
VI. 環境経営目標の実績とその評価、次年度の環境経営目標	...	P 6
VII. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 ・取組結果とその評価、次年度の取組み内容	...	P 7
VIII. 当社の取組み	...	P 8
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	...	P 9
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示	...	P 10
XI. 緊急事態の想定と記録 問題点の是正措置	...	P 11

I 組織の概要

1. 事業者名 東光建設株式会社
2. 代表者氏名 小長谷 啓介
3. 所在地 本社： 静岡県沼津市下香貫島郷2512-1
4. 事業活動 総合建設業（土木、建築、大工、とび・土工、舗装、塗装、防水工事）
5. 従業員数 7名
6. 環境管理責任者 小長谷 啓介
連絡担当者 笹原 春香
7. 連絡先 TEL (055)-932-0515
FAX (055)-932-0516
(E-mail: toukokensetsu@mx9.ttcn.ne.jp)
8. 建設業許可
建設業
静岡県知事許可（特－2）020141号
9. 設立
事業の規模 1983年4月1日

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	156	178	128
従業員	人	8	7	7
事務所床面積	m ²	66	159.82	159.82
資材置き場面積	m ²	67.65	146.76	146.76
器具庫面積	m ²	99.9	6.62	6.62

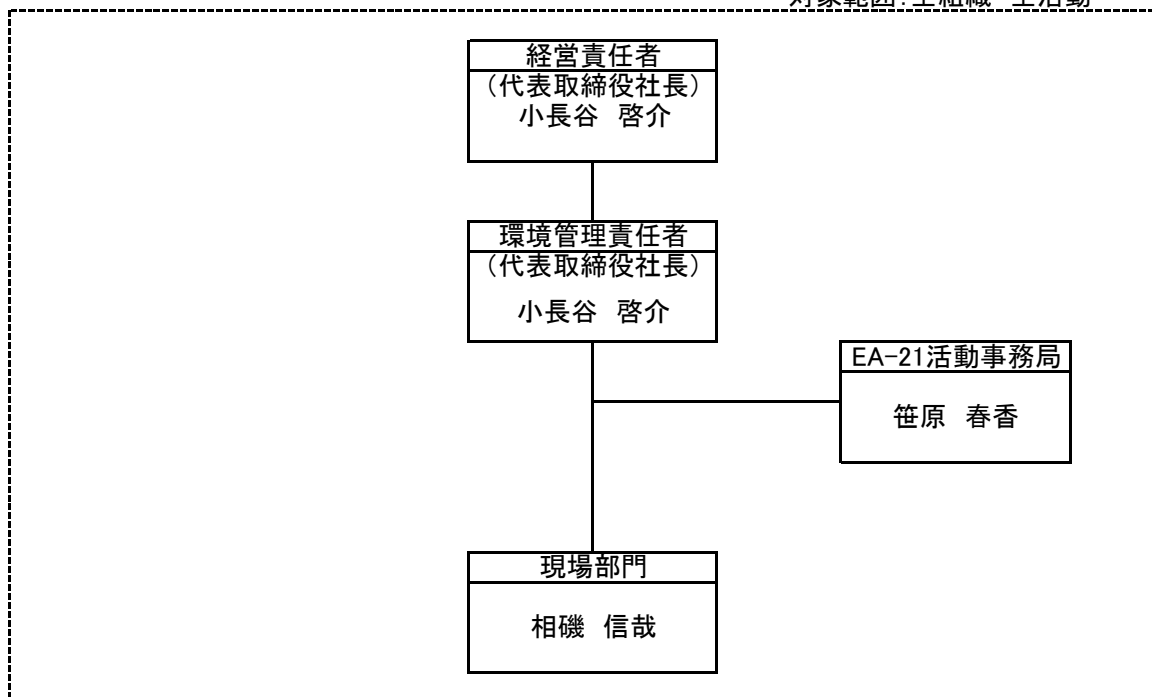
10. 事業年度
10月1日～翌年9月30日
11. レポートの対象期間及び発行日
環境経営レポート対象期間（令和4(2022)年10月1日～令和5(2023)年9月30日）
環境経営レポート発行日（令和5(2023)年12月11日）
12. 認証・登録の対象範囲
活動： 総合建設業（土木、建築、大工、とび・土工、舗装、塗装、防水工事業）

13 運搬車両と重機の種類

	保有設備	型式	性能等
重機	コマツバックホウ	PC20UU-3	0.066m ³
	日立バックホウ	AX30UR-5	0.1m ³
車両	2tダンプ	KC-FE512BD	2000kg

Ⅱ 実施体制

対象範囲: 全組織 全活動



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 経営における課題とチャンスの明確化
- ② 環境経営全般に対する責任と権限
- ③ 環境方針の作成と社員への周知
- ④ 全体の評価と見直し
- ⑤ 実施体制の構築
- ⑥ 環境経営に必要な資源の準備

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境目標及び環境計画の作成
- ③ 経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 活動計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規制の最新版管理と遵守チェックの実施
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境計画の実施
- ② 月別部門データの集計
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 従業員教育
- ⑤ 工事現場での適切な環境管理の推進

Ⅲ 環境経営方針

《企業理念》

東光建設株式会社は静岡県東部を拠点とし、地元に着した事業展開をしている総合建設会社です。事業活動が地球環境問題に深く関わることを認識し、地球環境にやさしい会社づくりに全従業員一丸となり取り組んでまいります。

《行動方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ① CO₂削減の為の省エネ活動に取り組みます。
 - ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
 - ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
 - ④ グリーン商品の調達活動に取り組みます。
 - ⑤ 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。
4. 全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。
また、社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます

改定年月日 令和2年10月1日
東光建設株式会社
代表取締役 小長谷 啓介

IV 環境経営目標

1. 環境経営目標

1.1 2021年度(令和3年度)負荷実績(基準年度)

	項目	単位	2021年度
			通年
二酸化炭素	二酸化炭素排出量	kg-CO2	10,248
	購入電力	kWh	5,117
	ガソリン	L	2,875
	軽油	L	487
	灯油	L	18
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	138
	産業廃棄物量排出量	kg	204,830
水使用量		m ³	49
顧客からのクレーム件数		件	0

1.2 中期環境経営目標

削減率は2021年度を基準値として示す。

	項目	単位	2022年度 (2022年10月～2023年9月)	2023年度 (2023年10月～2024年9月)	2024年度 (2024年10月～2025年9月)
			目標	目標	目標
	削減率	%	1.0	2.0	3.0
二酸化炭素	二酸化炭素削減	kg-CO2	10,146	10,043	9,941
	購入電力	kWh	5,066	5,015	4,963
	ガソリン	L	2,846	2,818	2,789
	軽油	L	482	477	472
	灯油	L	18	18	17
産業廃棄物排出量の削減		kg	202,782	200,733	198,685
水道使用量		m ³	49	48	48
顧客からのクレーム件数		件	0	0	0

*1:電力の二酸化炭素排出係数は 0.441 kg-CO2/kWhを使用した。

*2:一般廃棄物については極少量のため、目標を定めず、省資源に努めることとする。

V 環境経営計画

目的	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール											
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	笹原	① 消灯の徹底												
				② センサーライトや省エネ照明の使用												
		空調	笹原	① エアコンの稼働台数を減らす												
				② エアコン使用時のファンによる空気循環												
				③ クールビズ、ウォームビズ												
				④ 使用していない部屋の空調停止												
	ガソリン・軽油・灯油	乗用車・トラック	笹原	① エコドライブ10ヶ条の徹底												
				② エコ整備												
				③ 日常・定期点検の実施												
				④ 低排ガス対応車の導入検討												
		重機	小長谷	① アイドリングストップ												
				② 重機負荷は適切な負荷で作業する												
廃棄物のリサイクル	一般廃棄物の削減	事務所	笹原	③ 省エネ重機の使用												
				① 現場事務所温度設定20℃												
				① コピー用紙の両面使用												
	産業廃棄物の削減	現場	小長谷	② 3Rの実践												
				③ 廃棄物の分別とリサイクルの実施												
				① 廃棄物の分別化とリサイクルの実施												
				② 分別ルート新規開拓												
節水	上水	事務所	笹原	③ 用具のリユース化												
				① 節水表示の設置												
グリーン購入	事務用品他	事務所	笹原	② 日常的に節水を励行する												
				① グリーンラベル対応品の購入												
				② 何回も使える物購入検討												
環境配慮工事	民間工事での省エネ提案の推進	現場	相磯	③ 小さい容器から大きな容器への切替検討												
				① 省エネ機器の積極的な提案の実施												

VI 環境経営目標の実績とその評価

運用期間(令和4(2022)年10月～令和5(2023)年9月)の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			令和3年(2021)10月 ～ 令和4年(2022)9月	2022年度 (令和4年10月～令和5年9月)				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素	二酸化炭素削減	kg-CO ₂	10,248	1.0%	10,146	19.5%	8,245	○
	購入電力	kWh	5,117	1.0%	5,066	5.6%	4,828	○
	ガソリン	L	2,875	1.0%	2,846	36.6%	1,823	○
	軽油	L	487	1.0%	482	-48.5%	723	×
	灯油	L	18	1.0%	18	100.0%	0	○
産廃	産業廃棄物排出量の削減	kg	204,830	1.0%	202,782	4.2%	196,329	○
水道使用量		m ³	49	1.0%	49	10.2%	44	○
顧客からクレーム件数		件	0	—	0	—	0	○

* 備考: 電力の二酸化炭素排出係数は 0.441 kg-CO₂/kWhを使用した。

< 評価 >

項目	是正処置	原因・処置の内容
二酸化炭素	—	環境経営計画の確実な実施により、目標を達成することができた。
	—	これからも省エネ活動を続け、二酸化炭素排出削減を目指していきたい。
購入電力	—	空調の使用方法の見直しをすることで、消費電力を削減することができた。
	—	今後も工夫しながら、消費電力削減を行いたい。
ガソリン	—	近隣の現場増加や省エネ車の使用により、ガソリン使用量が減少した。
	—	次年度も可能な限り使用量を減少できるよう努めていく。
軽油	原因	ダンプトラックを使用する現場が多くなったことで、軽油使用量が増加した。
	是正処置	現場によって使用量は増減するため、ある程度は仕方がないが、エコドライブを心がけたい。
産業廃棄物	—	産業廃棄物を排出する現場が減った為、減少した。
	—	今後も可能な限り産業廃棄物の再資源化に取り組んでいきたい。
水道	—	各自の節水の意識付けにより、水道使用量を削減することができた。
	—	今後も目標達成するよう努めていきたい。

Ⅶ 環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、 次年度の取組内容

目的	区分	項目	責任者	活動項目	評 価		今後(次年度)の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素 の削減	購入電力	照明	笹原	① 消灯の徹底	○	掲示→徹底されている	継続実施
				② センサーライトや省エネ照明の導入検討	○	一部導入	検討実施
		空調	笹原	① エアコン稼働台数を減らす	○	徹底されている	継続実施
				⑤ エアコン使用時のファンによる空気循環	○	徹底されている	継続実施
				② クールビズ、ウォームビズ	○	徹底されている	継続実施
				③ 使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
	ガソリン・ 軽油・ 灯油	乗用車 トラック	笹原	④ 遮光対策	○	ブラインドの使用	継続実施
				① エコドライブ10ヶ条の徹底	○	表示されている	継続実施
				② エコ整備	○	省エネオイルOK	継続実施
				③ 日常・定期点検の実施	△	日常点検マンネリ化	継続実施
		重機	小長谷	④ 排ガス対応車の導入検討	○	一部導入	継続実施
				① アイドリングストップ	○	施工計画反映	継続実施
廃棄物のリ サイクル	一般廃棄物 の削減	事務所	笹原	② 重機負荷は適切な負荷で作業する	○	検討実施	継続実施
				③ 省エネ重機の使用	○	施工計画反映	継続実施
				① 現場事務所温度設定20℃	○	実施されている	継続実施
	産業廃棄物 の削減	現場	小長谷	① コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施
				② 3Rの実践	○	実施されている	継続実施
				③ 廃棄物の分別とリサイクルの実施	△	分別指導を行っている	継続実施
節水	上水	事務所	笹原	① 廃棄物の分別化とリサイクルの実施	△	分別指導を行っている	継続実施
				② 分別ルート新規開拓	○	分別基準と実施	継続実施
				③ 用具のリユース化	○	検討実施	検討実施
グリーン購 入	事務用品 他	事務所	笹原	① 節水表示の設置	○	表示OK	継続実施
				② 日常的に節水を励行する	○	実施されている	継続実施
				① 環境ラベル対応品の購入	○	実施されている	継続実施
環境配慮工 事	民間工事での 省エネ提 案の推進	現場	相磯	② 何回も使える物購入検討	○	実施されている	継続実施
				③ 小さい容器から大きな容器への切替検討	○	検討実施	継続実施
				① 省エネ機器の積極的な提案の実施	○	実施されている	継続実施

<備考>

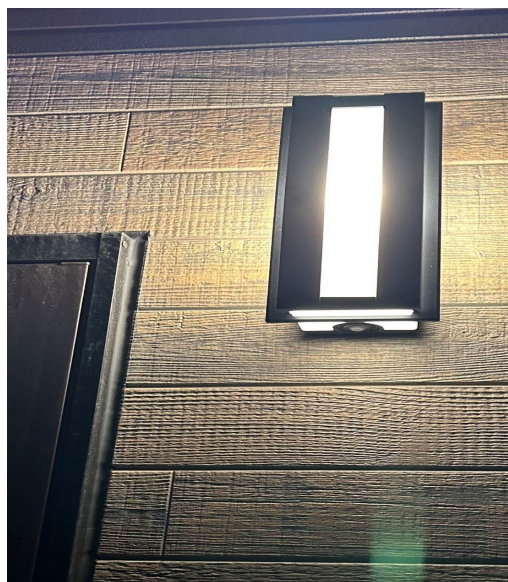
1. 評価判定
○(良くてきた)・△(まあまあできた)・×(できなかった)・- (実施が見送られた)

Ⅷ 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



◆省エネのためにセンサーライトやファンの導入◆



Ⅸ 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

評価日 令和5年12月11日

評価者 笹原 春香

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

	関係法令名	法令のポイント	備 考	遵守評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例)	・事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。 産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。 産業廃棄物の発生から最終処分終了まで、適正に処理がなされるよう必要な措置を行うよう努める。	1) 産業廃棄物マニフェストの管理 (A・B2・D・E票の返却) 2) 廃棄物処理契約書の締結 (許可書の期限確認) 3) 廃棄物委託業者への実地確認 4) 産業廃棄物管理票交付等状況 報告書提出 (6月末) 5) 廃棄物保管場所の掲示 60cm×60cm 6) 廃棄物管理責任者の設置	○ ○ ○ ○ ○ ○
2	資源有効利用促進法	・原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品を利用するよう努める。	1) 再生資源利用計画書の作成 2) 再生資源利用促進計画書の作成	○ ○
3	建設工事にかかる資材の再生資源化に関する法律 (建設リサイクル法)	・資源の有効な使用確保を図るとともに、産業廃棄物の発生の抑制、保全に関する為再生資源及び再生物の利用を目的とする。	1) 産業廃棄物マニフェストの管理 (A・B2・D・E票の返却) 2) 廃棄物処理契約書の締結 (許可書の期限確認)	○ ○
4	騒音規制法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	抗打機、杭拔機、削岩機、空気圧縮機、コンクリートプラント等を使用する作業特定建設作業の実施の届出書 (市町村長) (作業開始の7日前までに)	1) 早朝、夜間作業、日曜、祭日の作業自粛 2) 低騒音、低振動機械の使用	○ ○
5	振動規制法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	抗打機、杭拔機、削岩機、空気圧縮機、コンクリートプラント等を使用する作業特定建設作業の実施の届出書 (市町村長) (作業開始の7日前までに)	1) 早朝、夜間作業、日曜、祭日の作業自粛 2) 低騒音、低振動機械の使用	○ ○
6	河川法	濁度	河川の汚濁の防止	○
7	家電リサイクル法	冷蔵庫及びテレビ	処理時に対応	○
8	パソコンリサイクル法	パソコン本体、ディスプレイ、ノートパソコン及びプリンター	処理時に対応	○
9	自動車リサイクル法	使用済自動車 (適正処理)	処理時に対応	○
10	オフロード法	急発進・急加速・急操作の排除に努める。 停止の際はアイドリング・ストップを励行する。	検査結果の記録・保存 日常点検	○

2 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

1・見直し 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ 軽油使用量は未達成。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 「記録・文書」に記載の通りです。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 「記録・文書」に記載の通りです。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 是正・予防措置は取られています。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒ 特にありませんでした。
	8	その他()	☐

2・代表者による
全体評価・見直し
指示

今年度は、事務所移転後エネルギー使用環境が変化したことから、環境経営目標の見直しを行いました。その結果、空調の使用方法の見直しや、省エネ照明を使用などにより、効果的に二酸化炭素削減をすることができました。

社員に対する取組の意識付けも少しずつ定着してきたため、引き続き環境経営目標達成を見据えた取組を行って行く予定です。

次年度も環境経営目標を達成していくことができるよう、環境経営計画を確実に実施させ、環境法を遵守し、地球環境にやさしい会社づくりに取り組んでいきたいです。

令和5年10月20日

東光建設株式会社

代表取締役 小長谷 啓介

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・ ☐	
2	環境経営目標	☒ ・無	基準年度を2021年度に改めて設定
3	環境経営計画	☒ ・無	基準年度に合わせ、目標値を設定
4	環境に関する組織(実施体制含め)	有・ ☐	
5	その他のシステム要素	有・ ☐	
6	その他(外部への対応)	有・ ☐	

XI 環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

作成日 令和 5年(2023) 12月11日
作成者 笹原 春香

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定される緊急事態	原因	予防策	対応策
ダンプの油漏れ	油圧ホース、燃料ホースの劣化、人為ミス	・定期点検の実施 ・日常点検の実施 ・異音、ガタツキなどに留意し異音があれば早急に修理	①漏れた油を紙もしくは砂で吸い取る②車両を安全、迅速に移動③万一河川や側溝に流出した場合は土嚢で拡散を防ぐ ④油が多量の場合、会社及び関係機関へ連絡する

訓練記録

作成日 令和 5年(2023)12月 11日
作成者 笹原 春香

訓練日	想定される緊急事態	対処・訓練等
令和5年 (2023)12月8日	ダンプの油漏れ	原因、予防策と対応策を確認
参加者 小長谷、相磯、小早川、今野、笹原		
※評価と改善策		
予防、改善策は有効と思われるため改訂する必要はなかった		